

新しくルールができました お知らせします

★スタートオブマッチとウォームアップ

スタートオブマッチとは「両選手がコート内のベンチに到着後、1分以内に集まる。トスの後、決められたウォームアップを開始する。ウォームアップ終了後、1分以内に準備をして試合を開始する」というルールです。

『P134 22』

ルール講習会であったQ&A

Q1 ダブルスでパートナー同士のサービスの順番が間違っていた。

A スタンダードゲームの場合、間違いに気づき次第、本来のサーバーに代わります。タイブレークゲーム中の場合は、偶数ポイントが終わった後で気づいたら直ちに正しい順番に戻します。奇数ポイントが終わった後で気づいたら、入れ替わったままでプレーを続けます。間違いに気づく前に打たれたサービスのフォルトは取り消しません。『P21 規則7 c)d)』

Q2 ダブルスでパートナー同士のレシーブの隊形が入れ替わっていた。

A そのゲームだけは間違っただけでプレーを続け、そのチームが次にレシーブする順番のゲームになった時に本来の隊形に戻します。『P21 規則27 e)』

Q3 インプレー中に出す声はどんな時に妨害になりますか？

ボールを打つ時に声を出すのはルール違反ですか？

A 試合中に選手が声を出すのは「アウト」「フォルト」の場合でその声によりプレーは止まります。自分が打つ時に声をだすことは、打球時のスウィングの一部であれば許容範囲です。しかしそれ以外では、声を出すことで、相手のプレーが止まってしまうので相手が妨害を受けたとプレーを止めてしまった場合、相手に対する妨害行為と判断される場合があります。ただし、ポイントが終了していればそのポイントは成立します。『P20 規則26 ケース2,P205 1セルフジャッジの方法16』

Q4 インプレー中に落としたボールを拾ってプレーを続けられますか？

A 拾ってプレーは続けられますが、その行為が対戦相手・チームにとって妨害を受けたと判断される場合があります。相手が「レット」をコールして止めなければ、プレーを続けてください。インプレー中、プレーヤーがラケット以外の着衣、持ち物を相手コート以外の地面に落とした場合、それが1回目の時は、レットをコールしてプレーを停止し、そのポイントをやり直します。2回目以降、落とす度にそのプレーヤー・チームは失点します。レットのコールは落とし物をしたプレーヤー・チームはコールできません。『P57 Q13), P204 セルフジャッジの方法7)』

Q5 ダブルスコートのネットの長さが短く、ネットポストまで届きません。紐とネットポストの間をインプレー中のボールがする抜け、相手コートに入ったボールは有効ですか？

A 無効です。『P194 試合のコール 4)スルー』

Q6 ミスジャッジをペアが訂正したら、相手のエースだったのでポイントが成立、失点になりました。このミスジャッジは1回目とカウントするのですか？

A 1回目とカウントします。2回目以降は故意に妨害をしたとして、失点になります。『P205 1.セルフジャッジの方法 4』

Q7 誤ったコールを直ちに訂正した場合は失点ですか？

A インだったボールを誤って「アウト」「フォルト」とコール（ミスジャッジ）したとしても直ちに「グッド」に訂正した場合は、1回目は故意でない妨害としてポイントレットになります。ラインとボールの間に明らかに隙間を確認して「アウト」「フォルトコールをしましょう。

『P203 1.セルフジャッジの方法 4』

「JTAテニスルールブック 2021より」

試合中、わからない事や困った事があったら、レフェリーかロービングアンパイアを呼びましょう